

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 437 号	氏名	須山 英悟
学位審査委員		主 査	藤原 卓
		副 査	林 善彦
		副 査	根本 孝幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究の目的は、う蝕予防のためのホームケアツールとして緑茶フッ化物を利用したチューインガムを開発し、その効果を明らかにすることであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 再石灰化の評価には国際的コンセンサスが得られているマイクロラジオグラフィ法が用いられている。試験デザインは二重盲検群間比較試験（クロスオーバー試験）がとられている。また、フッ化物濃度測定は総イオン強度調整緩衝液を使用した電極法が用いられている。再石灰化エナメル質の耐酸性を評価するための酸処理には乳酸緩衝液を用い、その処理条件（pH4.5、37℃、72 時間）も適切である。これらのことから研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、緑茶フッ化物配合チューインガム摂取により唾液フッ化物濃度が上昇して初期う蝕状態である表層下脱灰病変の有意な再石灰化の促進と、再石灰化エナメル質へのフッ化物の取り込み、およびそれによる耐酸性の向上が確認され、う蝕予防効果が確認された。また、これらの研究結果と考察内容は高く評価でき、今後の活用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はう蝕予防研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			